

高齢者社会の現状

社会福祉法人　みのり福祉会

関金ラジュームデイサービスセンター

森貞　福恵

社会福祉法人　みのり福祉会

基本理念

地域を愛し地域の皆様の幸せのために
心を込めて奉仕する

保育園・障害者施設・高齢者施設等 24 施設

多種多様な事業が共同しながら

福祉サービスの充実を図り

地域の福祉コミュニティ「福祉の里」実現

内容

- 高齢者支援について
- 具体的な支援内容
- 私たちが思う高齢者支援とは

高齢者になるということ

肉体は30歳くらいから老化が始まり

60歳くらいになると身体全体の細胞数が減ったり、細胞自体の動きが鈍くなるなど徐々に色々な機能が低下していく

要介護状態とは

日常生活（食事・排泄・入浴）における
基本的動作の全部又は一部が一定期間にわたり、
継続して常時介助を要すると見込まれる
状態

要介護 1 ～ 5 の判定

高齢者の特徴

- ①動作や反応が鈍くなりペースが遅くなる
- ②不安感や疎外感を感じ、閉じこもりがちになる
- ③五感（視覚・聴力・触覚・味覚・臭覚）の低下
- ④転倒しやすくなる
- ⑤自分の価値観に固執しがちになる

老人性うつ症

環境の変化 退職、自分の病気、配偶者の死



発症



一日中ぼんやり、急に怒りっぽくなる
被害妄想や自責の念が強く「早く死にたい」
不眠、食欲不振なども見られる

認知症

さまざまな原因で
脳の細胞が死んでしまったり、
収縮して働きが悪くなること



記憶・判断力の障害などが起こり
社会生活や対人関係に支障が
出てくる状態

老化による物忘れと認知症の違い

	加齢による物忘れ	認知症による物忘れ
体験したこと	一部を忘れる 例) 朝ごはんのメニュー	すべてを忘れる 例) 朝ごはんを食べた事
物忘れの自覚	忘れっぽいこと 自覚している	忘れたことの 自覚がない
探し物に対して	(自分)努力して見つけようとする	誰かが盗ったなどと、他人のせいにすることがある
日常生活への支障	支障なく生活できる	日常生活を営むことが困難
症状の進行	あまり進行しない	だんだん進行する

認知症が進行した時の症状

「中核症状」

現実が正しく認識できない

判断障害→物事を判断する力が低下

見当識障害→場所や時間などが分からない

施行障害→思考能力や理解力が低下

記憶障害→少し前の事もすぐ忘れてしまう

「周辺症状」

うつ状態や妄想といった心理・行動症状

本人がもともと持っている性格や環境、人間関係などさまざまな要因が絡み合っている症状	
(能力の低下を自覚して)	元気がなくなり引っ込み思案に
(自分のしまい忘れから)	他人へのものとられ妄想へ
(今までしてきたことが上手くできなくなる)	自信を失いすべてが面倒に
(財産を狙っているなど被害妄想)	オーバーな訴えや行動がちぐはぐに

実際の例として

＊毎回利用時同じ話を繰り返し話される・・・

＊2・3分前の事なのに・・・

＊同じお金を払っているのに・・・



理解してもらおうと説明するよりも

否定しないで、本人の話をよく聞くことが大切

本人はすぐに忘れてしまうので何度も同じ質問や行動を繰り返す。 「盗られた」という妄想も本人にとっては現実。
盗んでいないと反論しても通じません

ポイント

同じことを言われても、穏やかな気持ちで、
初めてのつもりで話を合わせる。

良い感情を残すようにする

物事の事実関係は忘れてしまう（失敗した事柄）

その時感じた感情は心に長く残る（怒鳴られた・怒られた）



信頼関係を築くことが難しくなる

ポイント

感情面はとても繊細、温かく見守り適切な援助を受け
れば、自分ができることが出来ます。

家族や周囲にとって大切なこと

- ＊「忘れてしまうことは、病気」と理解
- ＊寄り添った対応を心掛ける
- ＊どうしたら円滑・円満に事が運ぶか考え対応する
- ＊理解し接してくれる人に頼る
- ＊安心感・信頼感の築き



実際には難しい

支援を行う上で大切なこと

家族、ケアマネ、事業所の連携
支援に対して同じ方向を向く

報・連・相が重要

利用者の状態、状況の 変化、要望、依頼、苦情など共有

電話・通い帳の活用

デイサービスでの援助内容

入浴支援（温泉の活用）

- ・ 清潔を保つ
- ・ 皮膚観察を行う
- ・ 機械浴の利用
- ・ 歩行浴による機能訓練



排泄支援

- ・ トイレの介助
- ・ オムツ交換
- ・ 排尿、排便チェック



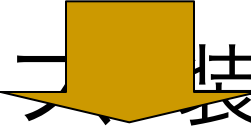
食事支援

- ・ 栄養のバランスを考えた食事の提供
- ・ 塩分控えめ食の提供
- ・ 嚥下、義歯の状態から食事形態を検討提供



グループワーク

色塗り、塗り絵、折り紙、裁縫、

トランプ、 装飾づくりなどを
提供

個人の能力の維持・向上
を援助し達成感を感じる

どんな違いを感じられますか



レクレーション

介護予防体操（倉吉元気体操）

頭の体操（ビンゴ・連想ゲーム）

カラオケ・今月の歌・おやつ作り・外食
ツアー

外出行事・季節の行事

交流（~~保寿園~~・~~地壇~~や~~求取~~ティア）
組み

ご利用者様の心の声

介護の必要なご利用者様ほど

不安や遠慮を抱えている

「情けない」

「申し訳ない」

反面

役に立ちたい

介護予防体操の個別編

ご本人と目的と取り組みを確認



10mの歩行時間 ・ 左右の足上げ高さ測定



入浴後、職員と介護予防体操を実施し記録



1ヶ月に1回歩行時間・足上げ高さの測定

1 0 mの歩行時間・左右の足上げの測定



職員と介護予防体操の実施



高齢期を豊かに生きるために

- 趣味などの楽しみ、友人との交流、ボランティア活動等の高齢者自身の積極的な姿勢や行動
- 誰しも「誰かの役に立ちたい」「感謝されたい」
- 健康な高齢者だけのことではない
- 生きがいを持った生活への支援
- 尊厳ある関わり
- 自己実現

生きがい

「生きるはりあい、
生きていてよかったと
思えるようなこと」

長生きよりも、人生をいかに充実したものにするか、
といった生活の質に重点が置かれている。

「人との繋がりが
日常生活動作の
低下を予防する」

人と繋がる場所の提供

「敷地内の足湯」

福祉コミュニティの場（介護保険外の事業）

「寛容な受入れ」

ニーズへの寛容な受入れ

ご清聴ありがとうございました